

1 日 時 令和5年1月18日（水）15：00～16：40

2 場 所 討議（多目的室）

3 あいさつ（委員長，学校長より）

- ・ 委員長より 全国的にいじめの事件報道があるが、いじめをなくすには、人権教育が根底にあるので、人権教育の実践を大切にしてほしい。
- ・ 学校長より 1年間の教育活動の成果と課題を明らかにし、今後の活動に生かしていきたいので、ご討議をお願いしたい。

4 協議内容

（1）本校児童の健康と体力に関する協議（養護，体育担当より）

学校保健委員会の冊子をもとに報告後，質疑応答

- ・ 朝の登校時に転ぶ子がいる。9月の救急の日に応急手当を指導したというが，どんな指導をしたのか。小さい学年の子が転んでも，大きい学年の子で見ているだけの子がいた。
- 発育測定前の保健指導で，自分でできる簡単なけがの手当てとして，擦り傷であれば傷口を流水で洗う等を紹介した。また，保護者と一緒に保健指導の振り返りができるように「ほけんだより」を配布した。
- ・ 眼鏡をかける子が増え，視力が低下しているというが，どんな指導をしているのか。昔は暗いところで本を読まないように指導していたが，今はスマホなどあるがどうか。
- 保健室前の掲示物に本を読んだり，テレビなどを見たりする時の適正な距離を眼鏡にひもをつけて距離感を体験できる形で紹介した。

（2）学校関係者評価についての意見交換（研修部，生活指導・人権教育部，特別支援教育担当より）

各担当から今年度の取り組みや成果と課題の報告を行い，質疑応答を行った。

【評価項目1 学力向上について】

- ・ ICTを活用した授業で，端末の操作がついていけない子はいないか。使い方を理解できない子がいないようにしていただきたい。
- 児童はパソコンの操作が好きであり，授業についていけない子はいない。
- ・ いじめがある場合，どういった内容か。重大事態はあるのか。
- 重大事態はない。個別の事案については，個人情報であるため，回答は差し控えたい。
- ・ いじめとけんかの違いは，けんかは一時的で，その場で収まっていることであ

る。本校は地域の特性か、仲良くしていただいていた。

- ・いじめられた子が、別の所で学習し、いじめた子がそのまま授業を受けていると新聞を見たが、いじめられた子がなぜ隔離されないといけないのかと思う。
- 基本的に同じ空間を目指している。保護者の思いや子どもの思いを大切にしたい。一概に離すのがいい、離さないのがよくないとは言えず、ケースバイケースである。その子たちの思いを大切にしたい。
- ・委員会活動を子どもたちと考える取り組んでいただいているか。
- 本校では、委員会は4年生以上で取り組んでいる。例えば図書委員会だと、環境整備などいろいろ働いてくれている。

【評価項目2 ICT活用について】

- ・ICT支援員はどれくらいのペースで来校するのか。
- 月2回来校する。
- ・パソコンは、なぜ1～3年生は持ち帰らないのか。
- まだパソコンに習熟していないため、持ち帰らせていないが、いずれは持ち帰る予定である。3年生は、2月より週1回持ち帰る予定である。
- ・時間外勤務の時間は、管理職の時間外勤務は除外されていると思うが、隠れた時間外勤務となっていないか。
- 管理職も含まれている。
- ・労働基準法では、月40時間以内と決まっているが、なぜ月45時間以内なのか。
- 鈴鹿市では、時間外勤務は月45時間、年間360時間以内と決められているためである。
- ・留守番電話は、緊急の時は対応してくれるのか。
- 職員がいたら対応するので、留守番電話に入れてほしい。
- ・モニターペアレントはいないのか。
- いない。

【評価項目3 不登校について】

- ・不登校対応は経験や知識がないと対応が難しいが、スクールカウンセラーに対応を学び、有効な手立てを考えている。成果が見えづらいと思うが、個人で悩まず、同僚と話しあって、対応していただきたい。

【評価項目4 地域連携について】

- ・地域連携については、4月に学校と公民館やマイタウン井田川まちづくり委員会と連携し、体育館でこいのぼり制作を行ったが、このような子どもたちが地域に誇りをもつような取り組みをぜひやっていただきたい。

【評価項目5 組織的な支援体制について】

- ・放課後デイサービスとは何か。
- 学童のように勉強も見てもらえる施設が、亀山市や平田町、神戸町などに数件ある。ここ10年で急激に増えている。
- ・給食時間は短くないか。全国的には、10分が27%、15分が40%、30分以上は32%である。
- 配膳時間を含めて、12時25分から13時5分まで40分間とっている。食べている時間は正味20分間である。ただ、黙食の習慣が付き、食べる時間が少し短くなった。
- ・朝ごはんの習慣はついているか。
- 朝食抜きで昼食をたくさん食べる子はいない。
給食の食缶はどれくらい残るのか。
- だいたい空になる。
- ・食に関心が薄くなっているのではないか。
- 給食中に、食べ物に関心を持たせるような給食の放送が流れている。
また、1年生では卵料理の時は、卵料理で好きなものを発表させたりして、関心を持たせている。
- ・高学年で体重が増えるのを嫌がる子はいないか。
- 高学年女子でたまにいる。子どもたちが遠慮せず食べる雰囲気づくりを大切にしたい。
- ・適応指導教室とは何か。
- 不登校傾向の子どもが通級したり、発達で困り感をもつ児童が通級したりする教室である。

5 令和5年度土曜日の教育活動について

7月第2土曜日 土曜学習（マイタウン井田川まちづくり委員会主催）

12月第2土曜日 土曜学習（マイタウン井田川まちづくり委員会主催）

※井田川フェスティバルがあるため、7月はとりあえず第2土曜日としておく。

今年度は、パステルアートに取り組んだ。

6 今年度の日程

次回第6回（最終回）は、2月16日（木）13：30～

7 教育委員会より

- ・各委員の皆様の意見が来年度の経営方針に結び付くため、言い足りなかった方は感想用紙にご意見をいただきたい。今回は7名の先生方の生の声を聞いていただいた。
- ・いじめについては、ケースバイケースである。いじめられたら、必ずしも別室ではない。心に傷があって、安心して教室には入れない子が別室に行く場合もある。ただ、不公平という意見については、今後教育委員会に持ち帰って検討する。次回、あと1回となったがまとめとなる。